

タッチ式
マイクロプレート
チェック装置
KI-200mkII

2017. 11. 28
高電工業株式会社

KODEN
INDUSTRY CO.,LTD.



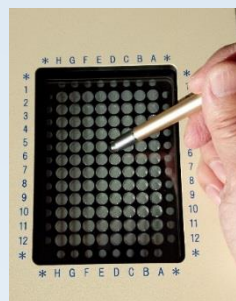
タッチ式マイクロプレートチェック装置

➤ 手記入の場合

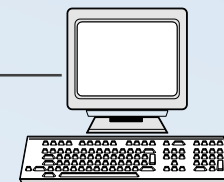
- ① 目視検査の結果転記に時間がかかる。
- ② 転記ミスが発生しやすい。
- ③ 結果のまとめを電子媒体にするには入力作業が発生する。

➤ タッチ式の場合

- ① 判定結果のウェル上をタッチすることで入力完了。
- ② ウェルとタッチパネルの位置情報は同じ。
- ③ そのまま電子情報化される。



ネットワーク接続



①従来はメモに取り後でPCに手入力

②本装置ではタッチするだけで入力が完了

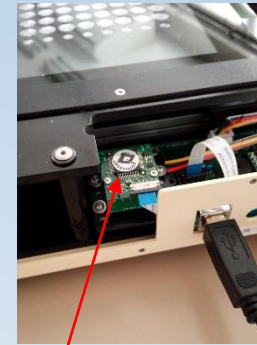
KI-200 mkIIの特色

① クリアなタッチ面

- ・透過率91%
- ・タッチ回数500万回以上
- ・通常のガラスと同じクリアさ



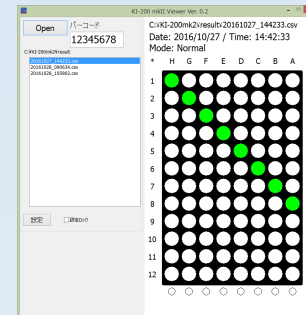
クリアな
タッチ面



内蔵バーコードリーダー

② バーコードリーダー内蔵

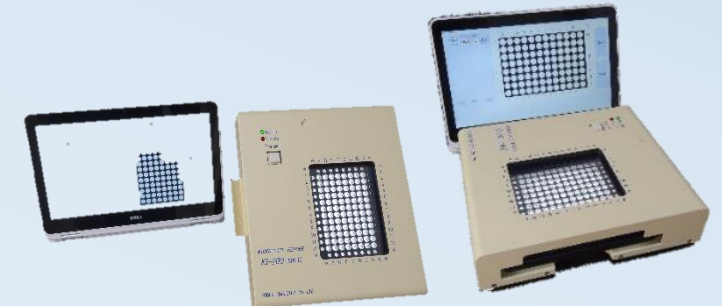
- ・プレート挿入後即読み取り



履歴表示

③ PCのデータ管理

- ・測定データはファイルで保存
- ・判定結果の履歴を表示



縦使用

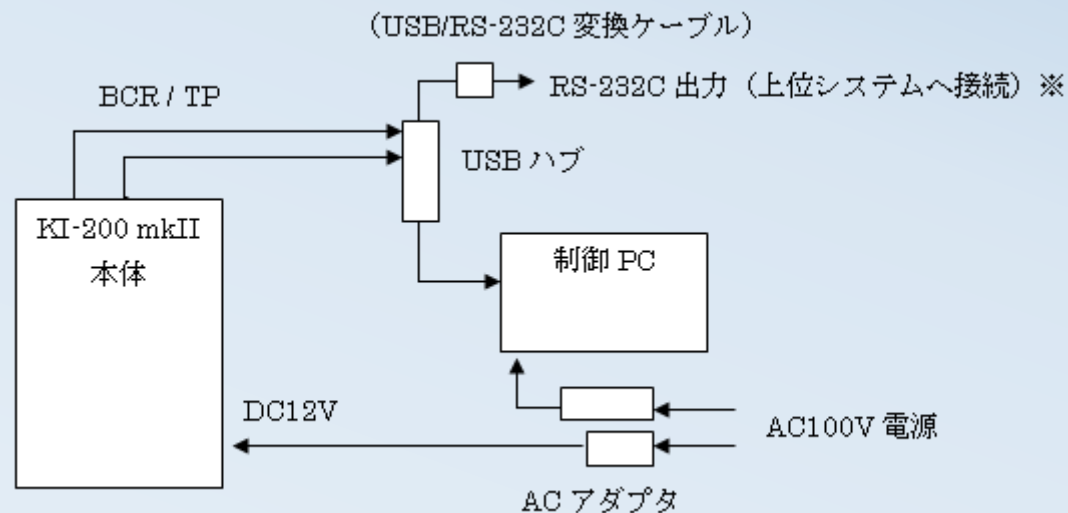
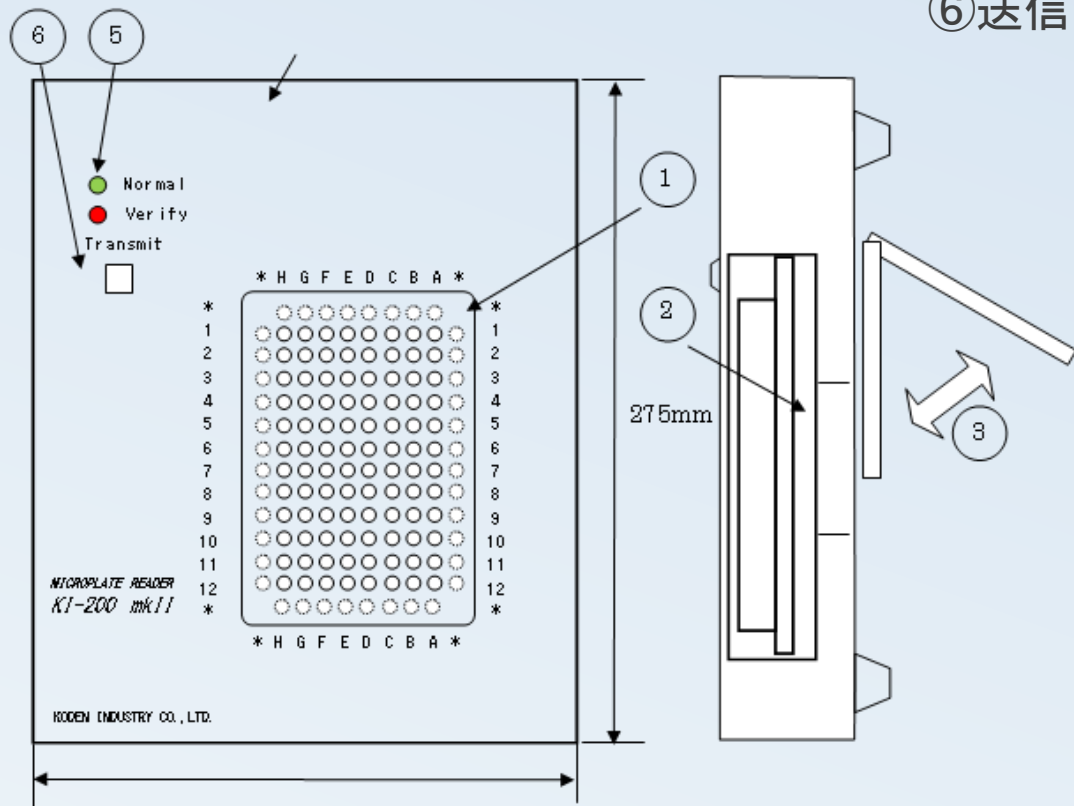
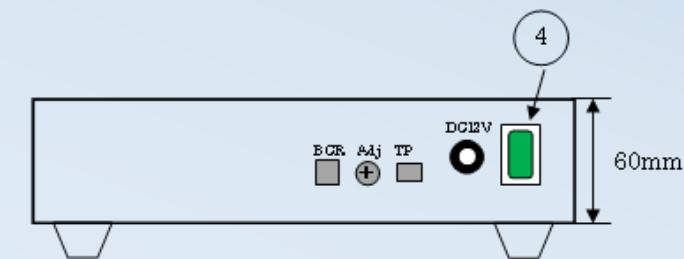
横使用

④ プレート方向

- ・プレート挿入の方向は縦横どちらからでも可

機器の外観及び構成

- ①タッチパネル
- ②マイクロプレート引き出し
- ③チルトスタンド（KI-200同様、最大30°までチルト可能）
- ④電源スイッチ、背面端子（BCR端子、TP端子、電源端子）、輝度調整ボリューム（Adj）
- ⑤送信モードインジケータ（Normal/Verify）
- ⑥送信ボタン（Transmit）

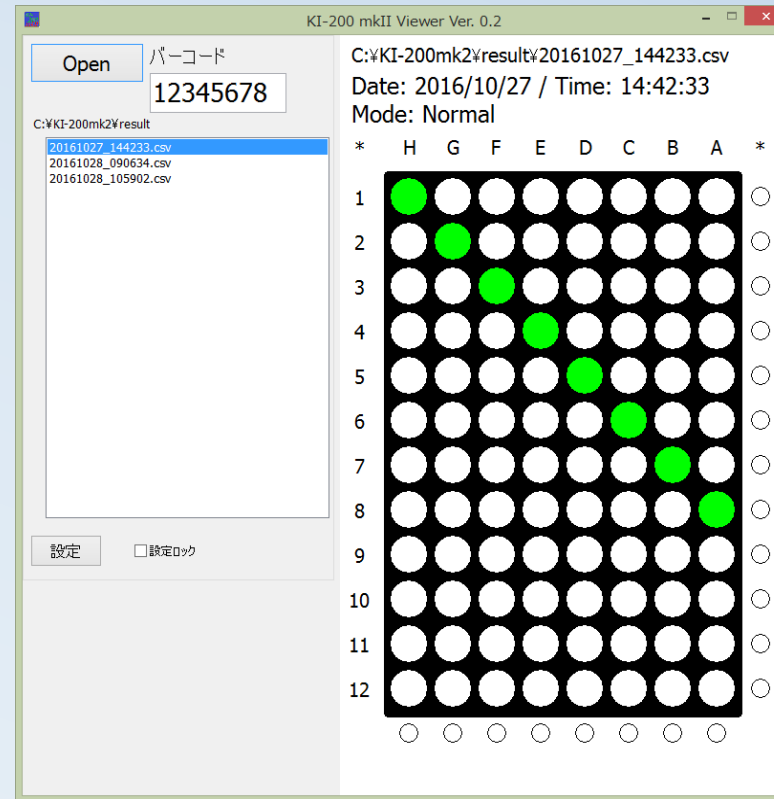


データ管理

- ①本装置では以下のデータの出力ができます。
- ②過去データも参照できます。

例)	説明	機種名
Model, KI-200mkII		
Date, 2016/9/27	日付	
Time, 14:57:13	時刻	
Plate Code, 1234	プレート管理コード (バーコード)	
Verify, 0	Verify モード時1、通常モード時0	
Data, A, B, C, D, E, F, G, H, I, J	(以下、タッチデータ)	
Data1, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 1, 0, 0, 0	1 列目、A~Jのタッチ位置	
Data2, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	2 列目、"	
Data3, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	3 列目、"	
Data4, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	4 列目、"	
Data5, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	5 列目、"	
Data6, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	6 列目、"	
Data7, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	7 列目、"	
Data8, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	8 列目、"	
Data9, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	9 列目、"	
Data10, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	10 列目、"	
Data11, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	11 列目、"	
Data12, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	12 列目、"	
Data13, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	13 列目、"	
Data14, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	14 列目、"	

CSV出力データ



履歴表示

マイクロプレートチェック装置：KI-200 mkII 対象ユーザー

- マイクロプレートを使用しており、自動判定が困難なため目視で検査を行っている方
- 目視検査によるウィルス等の免疫凝集反応検査（PA法、HI法）の判定結果を電子化したい方
- 均一な照明で目視検査を行いたい方
- プレートバックライトをご使用の方
- 当社製品 KI-100 / KI-200をお使いの方

